

【令和 2 年 5 月 10 日】

当センターにおける新型コロナウイルス感染について（その 12）

これまでホームページでお知らせしたとおり、当センターにおいて看護師 2 名、臨床検査技師 1 名の新型コロナウイルス感染者が確認されたことに対し、熊本市保健所の指導のもと、4 月 18 日より一般外来、入院患者さんの新規受け入れおよび休日夜間急患センターを休止いたしました。その後、延べ 297 名の患者さんや職員に対し接触者検診もしくはスクリーニングの PCR 検査を行い全員の陰性を確認し、特に接触する機会が多いと判断された一部の職員を観察期間として 2 週間自宅待機させておりました。この観察期間中に自宅待機をしていた職員の中から 4 名の発熱が観察され、該当職員に 2 回目の PCR 検査を施行し全員の陰性を確認しております。このことから自宅待機中である職員の隔離解除を待って 5 月 7 日より病院業務を再開しました。

今回、新型コロナウイルス感染症の陽性が確認された D 臨床検査技師は、C 臨床検査技師（4 月 19 日発症）との接触歴があり PCR 検査で陰性を確認して 2 週間の自宅待機としておりました。また、期間中は発熱なく経過し 5 月 2 日に隔離解除といたしました。しかし 5 月 3 日夜間から発熱が出現し、5 月 4 日の夕方まで 38℃の発熱が続いていると本人より当センターへ連絡がありました。隔離解除後の発熱であったことから上気道炎と判断し、5 月 5 日に市内医療機関へ受診を指示しました。同日、D 臨床検査技師が受診した医療機関の医師より接触者相談センターに電話相談がなされ、当センターと同じ診断であり早急な PCR 検査の適応ではないと判断されました。葛根湯治療により 5 月 6 日には解熱と感冒様症状は消失し上気道炎と判断され、5 月 7 日より通常通り出勤しましたが、当センター内で再度検討して勤務再開前に念のために病院独自で PCR 検査を行い 5 月 8 日に陽性が確認され、引き続き行われた行政の PCR 検査でも陽性を認めました。

5 月 2 日の隔離解除後も当センターは 5 月 6 日まで業務を休止しており、D 臨床検査技師は自宅にて療養していたため濃厚接触した患者さんや職員はおりません。日常的に臨床検査室や職員控室の消毒は頻回に行っておりますが、物品や設備を介した感染拡大の可能性は否定できないことから 5 月 10 日に臨床検査技師 11 名と、新たに発熱が観察された職員 1 名の計 12 名の PCR 検査を行って、全員の陰性を確認いたしました。

現在、新型コロナウイルス感染の拡大防止の対策として、休日夜間急患センターおよび救急車による急患搬送や入院患者さんの新規受け入れに関しては、5月9日から当面の間、休止することになりました。但し、当センターにおいて治療中の患者さんにつきましては、外来および入院診療を継続いたします。引き続き、保健所の指導のもと対応をすすめ、職員一丸となって新型コロナウイルス感染の封じ込めに努めて参ります。また、詳細な情報については、[熊本市保健所ホームページ「新型コロナウイルス感染症について」](#)をご参照ください。今後も新しい情報が入りましたら、速やかに公表してまいります。皆さまには、ご心配並びに、ご迷惑をおかけしますが、何卒ご理解の程よろしくお願い申し上げます。